

2024年度 差別の歴史を考える連続講座

今年度、開催曜日を土曜日にしました。いずれも第2、第4土曜（資料センター開室日）です。
講座の日はセンターを開室（10時～17時、講座の時間は除く）します。どうぞお立ち寄りください。

第1回 慶応四年、京都空也堂による紀伊国末派鉢家の組織化

6月22日（土） 講師：藤井寿一さん（和歌山人権研究所研究員）

明治維新に際して、空也堂の役人が田辺に赴き、紀伊国南部・中部の鉢家を末派として組織化した史実について考察します。

第2回 「封建的身分制度の撤廃」から「四民平等の世」へという誤認

7月13日（土） 講師：畠中敏之さん（立命館大学名誉教授）

「封建的身分制度」という誤認によって築かれた「四民平等」という誤認、近世から近代社会への身分差別の展開、その歴史認識について考えます。

第3回 アテルイと田村麻呂は後世にどう伝承されたか—異文化への日本の視座—

7月27日（土） 講師：菅澤庸子さん（大手前大学非常勤講師）

古代日本が政治的に異民族視していた「蝦夷」の英雄アテルイと征夷大將軍・坂上田村麻呂。2人の英雄の伝承から異文化への考え方の変遷をみる。

第4回 古地図(絵図)と部落史

10月12日（土） 講師：吉村智博さん（大阪公立大学客員研究員）

部落史研究に不可欠な古地図(絵図)はどのようにして作成されてきたのか。近世の版行京都図を中心にその内容と被差別民記載について概観し、展示公開の意味を探る。

第5回 戦時下の人権—兵士と遺家族—

10月26日（土） 講師：原田敬一さん（佛教大学名誉教授）

戦争は人の尊厳を壊す。他人を殺害することを英雄行為として求められ、応える。故郷の家族も安穏ではない。日中戦争下の日本でおきていた問題を考える。

第6回 東九条に生まれ育つ！～東九条マダンに託す願い～

11月9日（土） 講師：朴 実さん（東九条マダン元実行委員長）

東九条はかつて、住民の3割近くがコリアンでした。今、東九条の街は大きく変わりつつあります。「共に生きるまち～東九条～」を願って…

《会 場》 京都府部落解放センター 4階ホール

《参加費》 無料

《時 間》 午後2時00分～午後4時00分 ※昨年度とは時間が違います。

※日程変更の場合がありますので、参加ご希望の方は 必ず連絡先を明記の上、前日までにFAXか電子メールで 京都部落問題研究資料センターにご連絡ください。

京都部落問題研究資料センター TEL／FAX 075-415-1032

〒603-8151 京都市北区小山下総町5-1 京都府部落解放センター3階 e-mail qm8m-ndmt@asahi-net.or.jp

〈開室日時〉 月曜日～水曜日・金曜日・第2・4土曜日 10時～17時（祝日・年末年始は閉室）

〈アクセス〉 市営地下鉄烏丸線「鞍馬口」駅（京都駅より約10分）下車 烏丸通を北へ250m